

総括

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 会長 増田 詩織

本会の会員は、その多くが医療施設で勤務する臨床検査技師です。新型コロナウイルス感染の社会への影響は3年に及んでいますが、その渦中で本会会員は、病原体検査の対応、感染対策下での業務、人員・業務調整などに追われながら現在の医療を支えています。現在感染は第8波が猛威を振り、継続的に臨床検査の業務に大きく影響しています。これまでの感染拡大は感染リスクを避け、行動制限を強いるものでしたが、度重なる感染拡大を経験することでさまざまな制限を緩め、社会活動を元に戻す方向で進みつつあります。当会の事業は、2020年度ではほぼすべて事業中止を余儀なくされましたが、2021年度からはWebを使用したオンラインによる会議や授業・講演会の開催が行われ定着しました。理事会や事務局・事業局の部会会議はWeb会議システムを併用して情報の共有を図り、事業部ではオンラインによる事業開催に切り替えることができ、例年通り企画された講演会等を開催することができました。当初は会員も主催者側も手探りの開催でしたが、時間経過とともに運営自体が軌道に乗り、学術部の事業や勉強会は最終的にはほぼ例年通りの参加者がありました。一方、他団体との共催で対面形式の開催が主となる府民参加型の講習会や新年互礼会は、感染拡大防止を理由に2年続けて中止としました。また、2月に予定していた第5回大臨技医学検査学会も中止を余儀なくされました。

2022年度は、5月に第71回日本医学検査学会をハイブリッド開催し、全国から来阪する参加者の皆様の期待に添える大阪らしい特色を出せる学会を開催しました。その後も新型コロナウイルスの感染蔓延化により引き続きWebでの開催が主となりましたが、社会状況を見据え開催形式も対面形式を模索しながら事業を開催してきました。2月には第6回大臨技医学検査学会を対面とLIVE配信で開催し、多数の会員及び府民の皆様に参加いただきました。

2023年度は、公益事業として府民を対象とする渉外部が担当する府民公開講座や各種フォーラム（他団体との共催を含む）、各種疾患予防啓発活動、がん検診啓発活動、さらに地域に貢献するため各自治体の健康展への参加を推進します。生涯教育を通して府民の健康に寄与する公益事業である学術部の各種研修会、精度管理部のデータ標準化事業も引き続き推進し、会員の求めるニーズに対応いたします。組織部が担当するチーム医療推進事業、検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会や日本臨床衛生検査技師会（日臨技）連携事業の地域ニューリーダー育成講習会、認知症対応力向上講習会など組織力向上のための事業や地区関連事業を開催します。新年互礼会（2023年）で行政や関連団体と当会の緊密な連携を築き、地域医療推進協議会関連団体と協力し大阪府民の健康に寄与してまいります。また第7回大臨技医学検査学会の開催に向け全力で取り組みます。昨年から開催しているタスク・シフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会の開催も2023年度も毎月1回のペースで開催する予定です。2022年度（令和4年）第12回（2月）理事会および第13回（3月）理事会で承認された2023年度（令和5年度）事業計画・収支予算をご報告いたします。

■ 事業分類

公1事業（公1）

府民に対して健康に関係する体験学習、公開講座等を開催し、府民が健康に関する知識を習得することにより公衆衛生の向上に寄与する事業

公2事業（公2）

臨床検査の学術研究及び研修会等を開催することにより医療技術者の資質向上に寄与する事業

公3事業（公3）

臨床検査の精度管理・データ標準化を目的とする指導事業

他1事業（他1）

会員の相互扶助等事業

I 基本計画

公益法人としての事業を積極的に進める

1. 府民を対象にした府民の健康増進に寄与する公開講座やイベント事業の推進（公1）
府民健康フォーラム、大臨技・大放技合同フォーラム、看護の日、市民健康展、がん検診啓発活動、その他の公益事業を行う
2. チーム医療の推進に貢献できる事業の開催（公2）
栄養サポート、院内感染防止、糖尿病療養指導、その他、多職種がチームで医療を行う公益事業を行う
3. 臨床検査技師の知識・技術の向上を目指す専門的な研修会の開催（公2、他1）
新人技師、中堅技師、管理職技師に役に立つ研修や情報の提供を行い、学術技能の研鑽をする事業を行う
4. 精度保証事業（データ標準化を含む）の推進（公3）
日臨技とタイアップして大阪府下の検査施設の精度保証事業を進める
5. 臨床検査技師による臨床検査の説明・相談ができる環境を支援する（公2）
6. 卒前教育と卒後教育の橋渡しの事業（公2）
教育機関の教員の方々と連携して大臨技教育フォーラム等の事業を行う

II 事務局

1. 総務庶務部

- 1) 組織運営の充実（他1、法人管理）
 - (1) 定款、諸規程等の管理
 - (2) 総会、理事会および各種委員会の開催
 - (3) 各種表彰の充実
 - (4) 各教育機関との連携
- 2) 事務体制の強化（他1、法人管理）
 - (1) 会員管理システムの充実
 - (2) 大臨技会員証の管理
 - (3) 大臨技登録学生の管理
 - (4) 大阪府への各種報告
- 3) 府民ならびに関連団体との交流の推進
 - (1) 府民への情報公開（他1、法人管理）
 - (2) 他団体との情報共有（公1～3、法人管理）
 - (3) 大阪府地域医療推進協議会への参画（他1、法人管理）
 - (4) 新年互礼会の開催および運営（他1）

2. 広報編集部

- 1) 会員への広報の充実（他1）

- (1) 大臨技ニュースの発行
- (2) 大臨技ホームページの更新
- (3) 月間行事予定表の作成
- (4) 大臨技行事スケジュールの管理

Ⅲ 財務局

1. 財務管理の充実（他 1、法人管理）

Ⅳ 事業局

1. 学術部

- 1) 公益事業としての部門別研修会・講演会の開催、これらの事業を円滑に開催するための部会会議を開催（公 1～3）
- 2) 他の事業部の企画への協力（公 1～3）
- 3) 他団体（大阪府診療放射線技師会、大阪府薬剤師会、大阪府栄養士会、大阪府看護協会等）との学術交流活動への協力（企画への参加、講師 推薦）（公 1）
- 4) 学会の企画および運営（公 2）
 - (1) 第 7 回大臨技医学検査学会
 - (2) 第 63 回日臨技近畿支部医学検査学会（2024 年開催予定）の準備・企画
- 5) 検体管理システム部門を総合管理部門に名称変更する

2. 組織部

- 1) 地域の会員相互の交流強化（他 1）
施設連絡者会
- 2) 地域オープンセミナーの開催（各地区 1 回/ 年）（公 2）
- 3) 新人を対象とした研修会（他 1）
新入会員および未入会者を対象に技師会活動や臨床検査技師としての理解を深めるための研修会
- 4) 技師長会（他 1）
検査室の管理運営に役立つ情報の提供および施設間の連携をとり、組織の強化につなげる（今年度から当事業は開催を中止とする）
- 5) 検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会の開催（公 2）
- 6) 府下教育機関と共同事業（大臨技教育セミナー）を開催（公 2）
- 7) 日臨技事業の地域展開
地域ニューリーダー（他 1）、認知症研修会（公 2）
- 8) その他（公 2）
チーム医療部門との連携により、技師のチーム医療への参画を支援
 - (1) 糖尿病療養指導部会
 - ① 糖尿病療養指導定例勉強会
・ 糖尿病と療養指導に関する知識と技術を得るための講演およびグループディスカッション
 - ② 糖尿病療養指導士講演会
・ 多様化する糖尿病治療において糖尿病療養指導士の役割を考える
 - (2) ICT 部会
定期講習会
・ 感染症の基礎知識

- ・新型コロナウイルス感染対策についての講習会
- (3) NST・褥創部会
 - ・栄養療法・褥瘡の基礎を学ぶ
- (4) 内視鏡検査部会
 - ①実技講習会
 - ・内視鏡治療の講演・ハンズオンセミナー
 - ②定例勉強会（Web 配信含む）
 - ・内視鏡・タスクシフトシェアの実践に向けて
 - ・内視鏡治療の実際

3. 渉外部

1) 府民参加型健康啓発事業の開催（公1）

(1) 他団体との共催事業：講演会の開催

①大臨技・大放技合同フォーラム

公益社団法人 大阪府診療放射線技師会

②府民健康フォーラム

一般社団法人 大阪府薬剤師会、公益社団法人 大阪府栄養士会

(2) 他団体事業への参加

①看護の日イベント

看護の日～ハートフル大阪21～実行委員会主催「看護の日・看護週間」事業に参加し、臨床検査技師や臨床検査について紹介する

②リレー・フォー・ライフ・ジャパン大阪あさひ

公益財団法人 日本対がん協会主催事業で、がん検診の啓発を通して臨床検査技師の役割を紹介する

(3) 啓発活動

①大臨技がんフォーラム：「がん」に関する講演会の開催

②疾患予防セミナー：特定の疾患についての講演会を開催

(4) 健康展（吹田市、摂津市、他）への参加

2) 障がい者に対する理解と協力（公2）

手話講習会／講演会を開催し、聴覚障がい者に対する理解を深め、簡単な手話を学ぶ

3) 献血推進への協力（他1）

輸血用血液の確保が困難な夏季と冬季に、府民の皆さんに献血への協力の呼びかけを行う

4. 精度管理部

1) 臨床検査データ標準化サーベイ（公3）

新鮮血を試料としたサーベイを実施することにより、施設間差是正を推進するとともに、精度保証施設認証の取得を目指す

2) 大臨技実務統計セミナー（公2）

精度管理に関する正しい知識、技術を習得するための統計セミナー（8回シリーズ）の開催

2023年度収支予算書

2023年 4月 1日 から 2024年 3月31日まで

(公社)大阪府臨床検査技師会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,000	1,000	-
会費収益	25,450,000	24,500,000	950,000
事業収益	6,898,000	11,555,000	△ 4,657,000
受取補助金等	200,000	436,000	△ 236,000
雑収益	920,000	720,000	200,000
経常収益計	33,469,000	37,212,000	△ 3,743,000
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	4,950,000	4,875,000	75,000
福利厚生費	825,000	750,000	75,000
旅費交通費	2,519,000	3,012,500	△ 493,500
会議費	1,569,059	2,328,559	△ 759,500
通信運搬費	1,367,726	1,150,819	216,907
消耗品費	1,530,000	1,575,000	△ 45,000
印刷製本費	755,000	1,472,500	△ 717,500
光熱水費	175,000	189,000	△ 14,000
会場費	6,369,000	6,370,000	△ 1,000
諸謝金	4,212,000	5,430,000	△ 1,218,000
広報費	564,000	604,000	△ 40,000
賃借料	2,472,000	2,607,000	△ 135,000
支払負担金	300,000	300,000	-
減価償却費	720,000	700,000	20,000
支払手数料	162,000	349,500	△ 187,500
支払保険料	16,000	14,000	2,000
雑費	211,000	68,000	143,000
管理費			
給料手当	1,650,000	1,625,000	25,000
福利厚生費	275,000	250,000	25,000
旅費交通費	235,000	230,000	5,000
会議費	677,941	407,941	270,000
通信運搬費	207,274	138,181	69,093
消耗品費	455,000	405,000	50,000
印刷製本費	405,000	510,000	△ 105,000
光熱水費	75,000	81,000	△ 6,000
会場費	50,000	-	50,000
諸謝金	276,000	276,000	-
広報費	80,000	120,000	△ 40,000
賃借料	993,000	1,038,000	△ 45,000
支払手数料	50,000	50,000	-
雑費	185,000	285,000	△ 100,000
経常費用計	34,331,000	37,212,000	△ 2,881,000
当期経常増減額	△ 862,000	-	△ 862,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	-	-	-
(2) 経常外費用	-	-	-
当期経常外増減額	-	-	-
当期一般正味財産増減額	△ 862,000	-	△ 862,000
一般正味財産期首残高	31,904,551	22,287,967	9,616,584
一般正味財産期末残高	31,042,551	22,287,967	8,754,584
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	-	-	-
指定正味財産期末残高	-	-	-
III 正味財産期末残高	31,042,551	22,287,967	8,754,584